

第38回七ヶ宿GS大会 新型コロナウイルス感染症対策 ガイドライン

はじめに

このガイドラインは、七ヶ宿GS大会を安全に開催するために、『SAJ（全日本スキー連盟）競技会新型コロナウイルス感染予防ガイドライン（第1版）』及び『宮城県スキー連盟競技本部 新型コロナウイルス感染対策アルペン競技ガイドライン(2021/12/1)』を基に、大会開催者および参加者（選手・コーチ等）に守っていただきたい注意点を記したものです。一人一人が感染予防に留意し、大会やトレーニングを安全かつ確実に実施できるよう、ご協力をお願いいたします。

※リフト、レストハウス等スキー場利用のルールについては、スキー場のガイドラインを優先します。必ず指示に従ってください。

1. 開催者との連携

- ① 大会、合宿終了後 3 日以内に、参加者及び役員に体調不良者が出た場合は、連盟関係者に報告する。
- ② 大会事務局 七ヶ宿スキー場 連絡先：0224-37-3111
宮城県スキー連盟事務局 連絡先：022-799-7200

2. 受付、開会式、表彰式、閉会式

- ① 受付はロッジ食堂内に設置しビブやプログラムを配付する。チーム単位で申し込んでいる場合は、チーム代表者が受付を行うよう努める。
- ② 役員および参加者は、事前に健康チェックカードを記入し、受付の際に提出する。健康調査または行動調査で疑義のある者の役員従事・大会参加は認めない。
- ③ 開会式、閉会式は行わない。競技場の注意などは必要に応じてプログラムに掲載する。
- ④ 表彰式はゴールエリア付近の屋外で行い、ソーシャルディスタンスを保つよう努める。

3. 雪上での注意点（スタートエリアなど）

- ① 常時マスクを着用する。ネックウォーマーなどでも良い。
- ② ウォーミングアップの際は、十分な距離を保つことで、マスク等は外して良い。
- ③ 選手同士、コーチやスキー場スタッフ等とは 1-2mの対人距離を取る。
- ④ 外したマスクや使ったティッシュペーパー等は、自分で管理し処理する。
- ⑤ スタートエリアに入る役員・選手は最小限とし、必ず常時マスクを着用する。ネックウォーマーなどでも良い。
- ⑥ 目からの感染防止のため、役員はフェイスシールドやゴーグル、サングラスを使用することが望ましい。

4. コース内・コースインスペクションなど

- ① コースインスペクションは、ビブ番号やクラス等により選手毎の実施時間帯をずらすなどして、選手・コーチが密にならないよう配慮する。
- ② レースでの滑走時以外は常時マスクを着用する。ネックウォーマーなどでも良い。
- ③ 選手同士、コーチやサービスマンとは 1-2mの対人距離を取る。
- ④ 待機競技役員は、1-2mの対人距離を取る。

5. ゴールエリア付近

- ① フィニッシュエリアから出た選手は、1-2mの対人距離を取る。
- ② フィニッシュ直後で呼吸が荒いときは、対人距離を更にする。
- ③ ビブは選手個人が、回収袋に投入する。
- ④ ビブを扱う際は手袋を着用する。
- ⑤ 使用したビブは消毒もしくは洗濯をする。
- ⑥ 観戦者は常時マスクを着用する。ネックウォーマーなどでも良い。
- ⑦ 飲食物を提供する場合は、手指消毒をした上で、使い捨て手袋を使用する。

6. 選手、コーチ、役員

- ① 当日の検温を実施し、37.5 度以上の人、体調の悪い人は業務の参加を認めない。
- ② 用具を共用した手袋で、目や鼻をこすらないように注意する。
- ③ 屋外待機場所においても、1m以上の対人距離を保つ。
- ④ 集団で作業する場合は、対人距離と作業者の呼吸の方向に注意する。
- ⑤ 作業で呼吸が荒くなった場合は、十分な対人距離を取る。
- ⑥ 弁当や飲み物を配布する場合は、手袋を着用する。
- ⑦ 無線機器は、1 日の業務終了後消毒する。